

平成26年度 前期学校評価結果報告

学校名(四条中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

・規範意識の向上 ・学力向上 ・生徒会、部活動、行事の活性化

2 評価

<div> <div>・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定</div> <div>・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施</div> <div>・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</div> </div>						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成26年8月22日	評価日	平成26年10月20日
						評価者・組織	学校運営委員会	評価者・組織	学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校評議員による 改善に向けた支援策
1	確かな学力	基礎学力の充実 家庭学習の習慣化 読書の習慣化	・授業の充実 ・定期的な課題の提示 朝読書の定着	授業中の満足度・達成度 教科学習の興味・関心度 家庭学習の習慣度 家庭での読書の習慣度	4割近くの生徒が満足できておらず、興味を持っていない。 6割近い生徒が家庭学習ができていない。 6割近い生徒が家庭での読書週間で定着できていない。	⇒	授業を受ける姿勢は前向きに取り組んでいるが、生徒の興味関心を引き出す授業には至っていない。	⇒	昨年度までは授業が混乱していたため、授業が成立していれば目標が達成しているという認識が強かったので、授業の質的改善への意識向上に繋げる必要がある。
2	豊かな心	人(自分・他人)を尊重する心の育成 ものを尊重する心の育成 時(現在・未来)を大切にする心の育成	道徳教育の充実 植樹や栽培活動 学習規律の確立や全校集会の実施	他人を思いやり親切にしていますか ものを大切にしているか 教室内外の清掃活動がきちんとできて 学校のきまりや約束を守って生活しているか 進路展望をもっている	85パーセントの生徒ができています。 清掃活動については6割近い生徒がきちんとできていない。 完全下校の時間や寄り道をせず下校する等のきまりが6割の生徒ができていない。	⇒	清掃活動ができていないことについては、生徒自身が活動に意義を理解できていないため行動に結びついていない。	⇒	教師が生徒と共に清掃活動を行う姿勢が足りないことや、道徳等で清掃活動の大切さを訴える場面が少ないと考えられるので、その機会が必要である。時間を守ることにについては学校生活全ての場面での
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 体力の向上	毎日の健康観察の実施 部活動の活性化	十分な睡眠時間がとれているか 毎日朝食を摂っているか 部活動に積極的に参加していますか	睡眠は35パーセントが不十分で、朝食は9割近い生徒が摂れていない。 94パーセント近くの生徒が部活動に参加している。	⇒	睡眠時間の不十分さについては夜型生活の生徒が多いことが原因である。塾通い等によるものであると考えられる。	⇒	健康観察の結果を定期的に報告して教職員で共有すること、課題生徒へは保護者との連携を行い改善していくことが必要。
4	独自の取組	情報発信の充実 開かれた学校づくり	HPIによる広報活動の活性化 授業参観や休日参観等の学校行事の充実	学校HPで学校の様子が伝わっているか PTA活動が活発か 保護者が学校行事に積極的に参加している	8割の保護者がHPから学校の様子が伝わると答えている 85パーセントの保護者が活発であると答えている	⇒	保護者が学校行事に積極的に参加できていることは、PTA活動の積極性とも関連していると考えられる。	⇒	HPの更新などをさらに時期・内容共に充実させていくことや、保護者・地域・学校が一つになって取り組める行事の発信に努めていきたい。
								⇒	学校関係者評価に よる意見
								⇒	学校評議員による 改善に向けた支援策
								⇒	自分から興味を持って学習できるように、生徒が知的好奇心を持てるような授業を行って欲しい。読書の習慣は、教員も本を読んで生徒に勧めたり、読み聞かせ等を実施していく。
								⇒	学校だけでなく地域清掃等も学校と協力してやっていければ考える。
								⇒	学校保健委員会等でも実態を共有して、学校医等の専門家の意見を取り入れ保護者へ発信する。
								⇒	学校行事等で教職員・保護者・生徒の調和を感じることができると、PTAとの協力体制をさらに進めていくべきである。